

# 日本下水道新聞

2003年(平成15年)5月13日

## 「21世紀水倶楽部」が設立総会 環境問題や下水道事業の啓発活動



### 旧建設省などのOBらで組織

旧建設省(現・国土交通省)や東京都のOBらで組織、環境保全についての知識の普及と啓発活動を目的とする「21世紀水倶楽部」の設立総会が九日、東京都内で開かれた。当面の活動

に、下水道整備のあり方についての調査研究、提言をあげており、公共事業費抑制で下水道事業費が減少傾向にあることから、先進諸外国に比べて遅れているわが国の下水道を促進させる

### 挨拶する大迫理事長

ため、必要な情報提供や知識の普及を図ることとしている。

設立総会には発起人約十人が出席、定款、事業計画など決め、理事長に大迫健一・千葉工大教授、副理事長に安藤茂・西原環境テクノロジー相談役、事務局長に中川幸男・三水コンサルタント相談役を選んだ。すでにホームページを開設しており、広く入会を呼びかけ、NPO(特定非営利)法人の資格申請手続きを進めるという。

事業計画によると、①ホームページによる広報、意見交換の環境や下水道に関する研究開発③講習会開催や講師派遣④国際協力⑤PR誌発刊をあげている。理事長に就任した大迫氏は「大学で学生に接していると、環境についての意識

が高いのがわかる。環境問題についての知識を広め、正しい理解を得ることが必要で、このような活動に貢献していきたい」と挨拶した。

ホームページは<http://members.aol.com/sewerNPO/mizu-club.htm>

### 「下水道の応援隊」にエール

設立総会に来賓出席した藤木国土交通省流域管理官は「マスコミに下水道批判が出るが、当局としては動きにくい面がある。このような批判に対応してくれるのはありがたい」。安中日本下水道事業団理事長は「下水道に心強い味方ができ、国民の理解が深まることを期待」。玉木下水道新技術推進機構理事長は「子どものライバルができたかと思っただけだが、味方と知って期待している」とそれをエールを送った。